

平成 29 年度 第 4 回 港南区協働による地域づくり推進協議会（施設見学） 開催報告

【日 時】	平成 30 年 2 月 1 日（木） 12:00 から 15:30 まで
【出席者】	藤田会長、五十嵐副会長、小清水委員代理、福山委員、比留間委員、二河委員、加賀委員、谷本委員、高柳委員、塩田委員、齊藤委員

【今回の趣旨】

障がいのある方が自立した地域生活を送ることができるよう、その人の状況や環境に合わせた支援を受けて共同生活を営む「グループホーム」は、ホーム数・入居者数ともに着実に増加しており、地域においても身近なものとなってきました。

今回は、その「グループホーム」への理解や協力が深まるよう、「たんぽぽ下永谷」と「WAIWAI コーポ」の 2 か所のグループホームを見学しました。

たんぽぽ下永谷

グループホームの不足

「たんぽぽ下永谷」を運営する「NPO 法人 風の音」は、横浜市内に 4 か所のグループホームを運営しています。



ホーム長 樋泉 朋之さん

現在、グループホームはどこも満員で、定員 5 人に対して、多いところでは 75 人の応募があります。現在、新たに開設されるところは少ないのが状況です。

いろいろな方が生活しています

「たんぽぽ下永谷」には 5 人の知的障がい者が住んでいます。年齢は 30 代から 60 代と幅広く、障がいの程度も一般の会社に就職している方から、生活訓練を受けている方など様々です。

地域の方とのちょうど良い距離感

近所の方たちは何かを手伝ってくれるというわけではないですが、ちょうど良い距離感で見守ってくれています。入居者が自治会の盆踊りなどに参加し、「近くにこういう人が住んでいるよ。」と地域の方たちに知ってもらう機会をつくっています。

「いざ」という時のために

入居者は、いざ災害が発生すると、自分一人で行動するのはとても大変です。そのため、平常時から「いっとき避難場所」や「地域防災拠点」に行く訓練をしています。また、自治会が作成している「要援護者名簿」に登録して、「いざ」という時のために備えています。

皆さんにお願いしたいこと



障がいのある方たちは何もできないわけではありません。私たちよりもスピードは遅いですが、日々、様々なことを吸収しています。もし、皆さんが何か手伝っていただけるのであれば、まず、彼らのことをよく見てください。少し見ていると、彼らが何を求めているか分かるようになります。そして、支援を求めていると感じたら、手を差し伸べていただければ良いと思います。

WAIWAI コーポ

グループホームは自立の通過点

精神障がい者にとってのグループホームは、基本的には自立のための通過点です。「WAIWAI コーポ」は定員が 8 人です。現在は



総括管理者 国原 俊子さん

満員で、8 人が協力し合って生活しています。それぞれトイレ掃除などの決められた役割を果たしながら、様々な生活スキルを身につけています。また、入居者は主に区内の作業所に通所しています。各作業所とも連携を図り、入居者の自立を支援しています。



皆さんと変わらない生活を送っています

入居者は全員、精神障がいの病院に通院しており、そこで処方された薬を服薬しています。服薬管理をしっかり行えば、健常者と何も変わらない生活を送ることができます。

土日は、それぞれ買い物に行ったり、部屋でゆっくりしたり、趣味の剣道に通うなど、自分たちの日常を大切にしています。それでも、入居者の状態をチェックし、「ちょっと疲れていないかな。」「悩みがあるのかな。」と職員が話をしながら、入居者が日々安定した生活を送れるようにしています。

地域の方たちとのつながり

月に 1 回、近くの歩道を清掃するなどして、地域の方々とのコミュニケーションを図っています。また、防災訓練の際には地域の方と一緒に「いっとき避難場所」に集まり、そこから「地域



防災拠点」に向かう訓練も行っています。野庭の地域はお祭りも多いので、そういった行事に参加をすることで地域の方たちに「こういう人が住んでいるグループホームがある」ということを知ってもらうようにしています。グループホームの存在を知ってもらい、皆さんと何も変わらない生活を送っていることを知ってもらうことが、入居者が日常生活を送る上での安心にもつながります。

今回ご協力いただいたグループホーム

【たんぽぽ下永谷】港南区下永谷にある、「NPO 法人 風の音」が経営するグループホームで、主に知的障がいのある方が入居しています。

【WAIWAI コーポ】港南区野庭町にある、「NPO 法人 こころの健康を考えるかるがも会」が経営するグループホームで、主に精神障がいのある方が入居しています。

協働による地域づくり推進協議会 藤田会長（港南区連合町内会長連絡協議会）

グループホームを見学してみて



本日はどうもありがとうございました。お話しの中で、どちらも地域との関わりを積極的に行っていることを知り、大変うれしく思いました。

私自身、障がいのある方たちと地域が交流を図り、お互いを知ることがとても大事なことだと思っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。